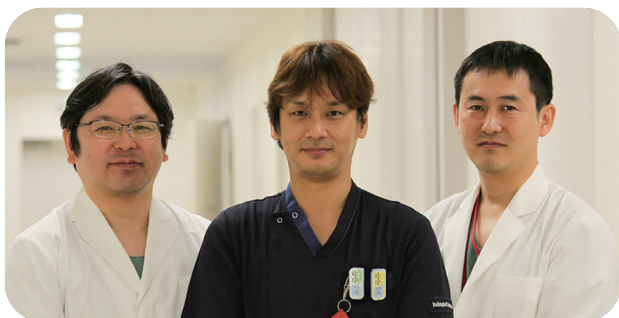


つなぐ

さいちゅう
レター2023年
1・2月号
vol.31

循環器内科医長

平田 直己 (写真左)

放射線技術科係長

河内 康志 (写真中央)

循環器内科医長

鈴木 健之 (写真右)

体に優しい狭心症の検査
「FFRCT検査」を導入しました

入院を伴わない検査で狭心症の早期発見を

正確で迅速な判断が求められる狭心症。当院では、検査に伴う患者さんの負担を減らしつつ、より検査の正確性を上げるため、2022年より「FFRCT検査」を導入しました。FFRCT検査は、冠動脈CT検査で血管の狭窄が認められた場合に、症状との関連性や影響の大きさを見極めるための検査です。

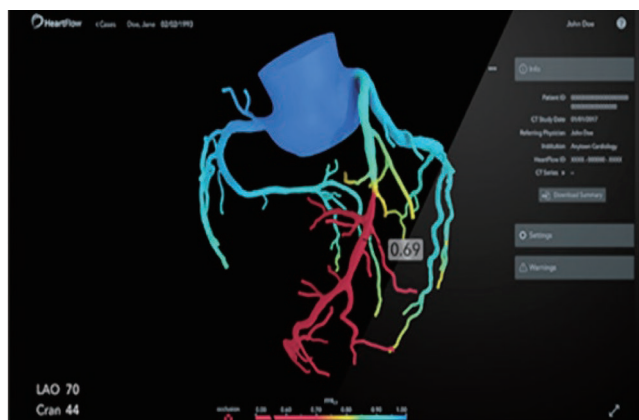
■FFRCT検査ってどんな検査？

FFRCT検査は、狭心症が疑われる患者さんに対して実施する、新しい心臓の検査です。狭心症は、冠動脈が細くなって心臓に十分な血液を送れなくなる病気で、「急に胸が締めつけられるような感じがして、痛みがある」「動悸や息切れが激しい」といった自覚症状があります。こうした場合、まずは外来で心電図、胸部エックス線検査、心臓超音波検査、冠動脈CT検査を行います。冠動脈の「見た目」をチェックして、「冠動脈が細くなっている部分が本当に自覚症状の原因なのか」「どのくらい体に影響を及ぼしているのか」を見極めるためです。しかし、血管の変化が中程度だったり、狭くなった血管が複数あったりすると、見た目だけで治療の必要性や治療箇所を決定することができません。当院で2022年より導入されたFFRCT検査は、こうした場合の追加検査として選択される手法です。

■従来の検査との違いは？

FFRCT検査が登場するまで、見た目だけで治療適応が判断できない患者さんに対しては、心臓カテーテル検査などを追加で実施していました。心臓カテーテル検査は、足の付け根や腕から冠動脈の入り口まで、カテーテルと呼ばれる細長い管を

通して血流の状態を調べる検査です。カテーテルを通す穴を開けるため、患者さんには入院していただき、慎重に行わなくてはなりません。一方、FFRCT検査は、一度撮影した心臓CT検査の画像を専門の分析機関に送り、スーパーコンピュータで解析することで血流量を見える化するため、入院を伴う負担のかかる検査をせず外来で結果を聞くことができます。FFRCT検査ができるのはまだ限られた施設のみですが、2018年から保険適用になったことでより受けやすくなりました。当院では循環器内科と放射線技術科が連携し、最新鋭のCT画像を活用したFFRCT検査を積極的に行っています。



3D画像で血管の状態を見える化するFFRCT検査のイメージ図。血液の流れが悪化している部分は赤色で表示される

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

年が明けまして、新型コロナウイルス感染症に翻弄される日々が続いております。皆さまにはご面会の制限や感染予防対策で多大なご負担をおかけしてまいりましたが、昨年11月末より予約制での入院患者さまへのご面会を再開いたしました。また玄関につきましても感染対策を施した上で北棟玄関の出入りを再開いたしました。

今年は新型コロナ感染症対応を行いつつ、高度急性期病院として充実した病院機能を発揮し、地域診療の核となれるよう努力してまいります。済生会中央病院は「日本一の病院力をめざす」という大きなビジョンを掲げ進んでおります。皆さまに最適、最良の治療をご提供できますよう、職員一同、精進してまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

院長 海老原 全

私たちは約束します 「治し支える医療」のために

- 治しながら次のことを考えます
- あなたの「いいね」を大切にします
- 地域のきずなをより深めます

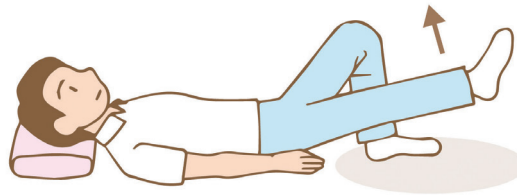


健康づくりの豆知識

「膝伸ばし挙上運動」

「立ち上がる」や「立つ」「歩く」など、日常生活動作に大きく関わる大腿四頭筋。脚力を維持するために生活に取り入れてみてください。

- ・あおむけになり片膝を立てます。
- ・もう一方の足の膝をしっかりと伸ばし、そのままゆっくり上げ下げします。
- ・片足20回ずつ運動します。



上げる高さはもう一方の膝の高さぐらいを意識しましょう

理学療法士
小幡加奈さん



ご寄付のお知らせ

「なでしこ基金」へのご寄付ありがとうございました。

2022年10月～11月

400万円… 小倉 律子 様 300万円… 吉田 昌弘 様

100万円… 宮本 光敏 様、匿名

10万円… 岩崎 利晴 様、六島 覚 様

5万円… 匿名 1万円… 佐竹 治紀 様、斉藤 正輝 様

けんさの豆知識

臨床検査科では、患者さん向けに臨床検査データの理解をサポートするための「けんさ豆知識」という冊子を公開しています。ぜひ、ご活用ください。



発行:海老原 全 編集:広報委員会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-17
TEL:03-3451-8211 FAX:03-3457-7949



社会福祉法人 済生会支部 東京都済生会
東京都済生会中央病院

